

INAX 2ハンドル混合水栓

取扱説明書

(保証書付)

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

■安全上のご注意

1

■定期的なお手入れ

6

■ご使用前に

2

■定期的な部品交換のお願い

7

■ご使用方法

3

■修理を依頼される前に

8

■凍結の恐れがある場合

4

■アフターサービスについて

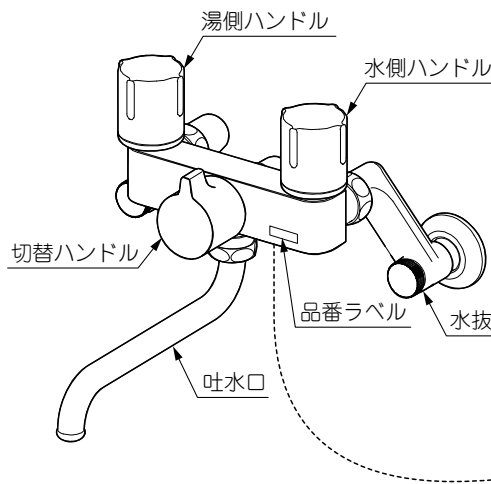
9

■日常のお手入れ

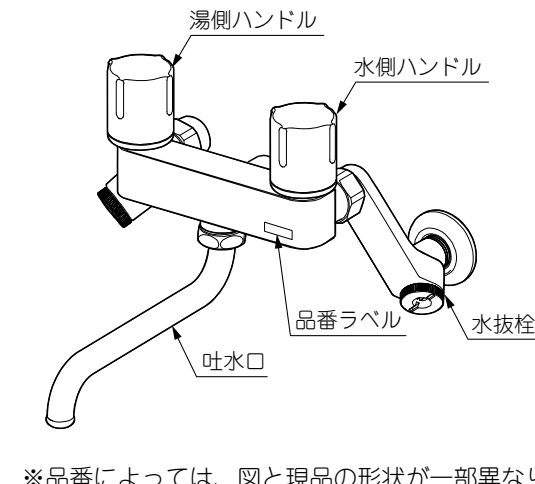
5

各部の名称と商品概要

BF-WM115H型、BF-WL115H型
RBF-892型、BF-WL205H型の場合



BF-WM405型、BF-WL405型の場合



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことを約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。
※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：2ハンドル混合水栓		(品番：)	
保証期間	取付日より2ヶ年	年	月 日
お客さま	おなまえ	無効	
	おところ		
	おでんわ		
TEL () - ()			
お客さまへ			

無料修理規定 (保証規定)
1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2.無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3.ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4.保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
(1)用途以外(車庫、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい腐等)または使用に伴う消耗部品の消耗等により生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(保樹、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
(8)小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または糞(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
(10)戦争・暴動等の戦災行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かび等の現象
(12)消耗品(パッキン、ヒューズ、電池等)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
(13)温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障及び損傷不具合
(14)寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の腐・砂やごみなどの異物の配管内流入及び水が固化に起因する不具合
(16)ガス・電気・給水等の供給が指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電圧・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
(17)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことを約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7.修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
8.弊社ユニットバスルーム内に設置される場合は、ユニットバスルーム本体の無料修理規定(保証規定)に準じます。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで		修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで	
TEL ☎ 0120-179-400	受付時間 平日 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00	TEL ☎ 0120-179-411	受付時間 9:00～19:00 (365日受付)
FAX ☎ 0120-179-430	(コールセンター、郵局、年末年始の休日は除く)	FAX ☎ 0120-179-456	

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。 右記番号をご利用ください。 TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

株式会社 LIXIL ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/> GMS-1973(2/1101)

はじめに

1 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。
- いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ずず保管してください。

用語および記号の説明

警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠

「注意しなさい！」(上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘

「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

⊘

「分解してはいけません！」

⊘

「指示した場所には触れてはいけません！」

⚡

「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 警告：ヤケドをしないために

⊘

小さいお子さんだけの使用は避けてください。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。

⊘

シャワーには45℃以上の湯を過ぎないでください。
※高温のシャワーヘッドに触り、ヤケドをする恐れがあります。
※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

⊘

給湯機器の給湯設定温度は85℃以上で使用しないでください。
※水栓が破損し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。
※なお、誤動作によるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。

⊘

水栓の左側は給湯側のため高温になっています。
金属の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

⊘

高温の湯をお使いのときには、吐水口(パイプ)は高温になっています。金属の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

⚡

給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。
※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

⚡

ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生する恐れがあります。

⊘

他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
※同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。
※圧力変動の影響を受けにくい水栓としてサーモスタット付混合水栓をおすすめします。

⊘

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。

⊘

衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。
※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。

⊘

メッキ面のハガレはそのまま放置しないでください。
※メッキ面のハガレやキズで、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意：凍結防止のために

⊘

凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
※水栓が凍結すると部品が破損し漏水の原因となります。
※配管部などに保温材を巻いてください。
※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。

⊘

【寒冷地仕様の場合】
凍結時に解凍機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。
※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生する恐れがあります。

⚡

【寒冷地仕様の場合】
凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生する恐れがあります。

⚠ 注意：定期的配管の漏水やガタツキがないか確認してください。

⚡

※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生する恐れがあります。

⊘

【寒冷地用の場合】
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
※漏水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす財産損害発生する恐れがあります。

つかいかた

2 ご使用方法

吐水量・温度の調節

ハンドルに付いている青と赤の表示は、それぞれ水と湯を示しています。
水側ハンドルを最初に開き、次に湯側ハンドルをゆっくり開いて、お好みの温度・吐水量に調節を行ってください。

注意

- 湯側ハンドルを最初に開かないでください。
※高温の湯が出て、ヤケドする恐れがあります。
- 切替ハンドルのあるタイプ(BF-WM115H型、BF-WL115H型)は、切替ハンドルが吐水口側にあるのを確認してから、水側ハンドルを開いてください。
※いきなり冷水を浴びたり、熱湯を浴びてヤケドをする恐れがあります。

シャワー・吐水口の切替え

吐水口使用の時は、切替ハンドルを右へ、シャワー使用の時は左へ回してください。
吐出を一時的に止める場合は、切替ハンドルのレバーを上向きにします。
一時止水の位置を、クリックでお知らせします。

注意

- 切替ハンドルはゆっくり操作してください。
※ウォーターハンマー現象が発生する恐れがあります。

水を止める時

湯側ハンドル、水側ハンドルの順にゆっくりと閉じてください。

切替ハンドルのあるタイプ(BF-WM115H型、BF-WL115H型)は、必ず切替ハンドルを「吐水口側」にして上記の操作を実施してください。

注意

- 水側ハンドルを最初に閉じないでください。
※高温の湯が出て、ヤケドする恐れがあります。
- ハンドルはゆっくり操作してください。
※ウォーターハンマー現象が発生する恐れがあります。
- 水を止める際は必ず切替ハンドルを吐水口側にしてください。
※次回使用時に、不意に冷水や熱湯を浴びてヤケドをする恐れがあります。

3 ご使用上の注意

●ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
このときは、給湯器の設定温度(能力切替付は能力)を少し下げてください。

4 凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

凍結予防のしかた

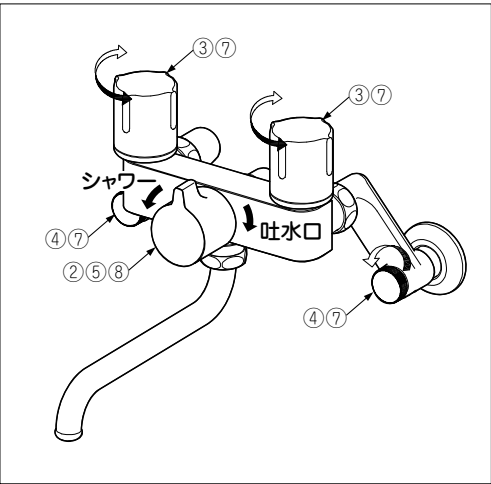
水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

一般地用の場合

- 以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。
- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

寒冷地用の場合

- 下記の手順で水栓の水抜きをしてください。
- ①配管の水抜き栓の操作をする。
 - ②切替のある場合は、切替ハンドルを吐水側に回す。
 - ③湯側、水側ハンドルを開ける。
 - ④湯側、水側の水抜き栓を開ける。
 - <⑤⑥はシャワーのあるタイプ>
 - ⑤切替ハンドルをシャワー側に回す。
 - ⑥シャワーヘッドをよく振って水を切り、床に置く。
 - ⑦水栓の水が抜けたら、湯側、水側ハンドルと水抜き栓を閉める。
 - ⑧切替のある場合は、切替ハンドルを吐水口側に回す。
- ※開けたまま放置すると湯側、水側ハンドルや水抜き栓を閉止できなくなることがあります。
無理な操作をせず通水または自然解凍してください。
※再通水前には水抜き栓を閉めてください。



お手入れ

5 日常のお手入れ

布などを使用したお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後からふきしてください。

注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。
まちがって使用した場合は、すぐには洗いをしてください。

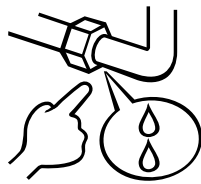


- 酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、掃除で酸性洗剤等を使った場合などはすぐに本品を十分水洗いしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。

6 定期的なお手入れ

水まわりの水漏れ（年2回以上）

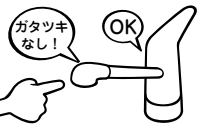
- 水まわりの水漏れがないか点検してください。
- 見えない部分は特に注意が必要です（洗面台・キッチンキャビネット内）
※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。



水漏れしている場合は、止水栓または元栓を開め（**8**参照）、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

水栓本体のガタツキ（年2回以上）

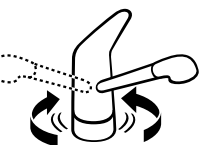
- 水栓本体のガタツキがないかを確認してください。
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。



水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

吐水口部の操作性（月1回以上）

- ときどき吐水口部を回してください。
※吐水口部を長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。



動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

整流口の掃除

整流口のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき、次の要領で掃除をしてください。

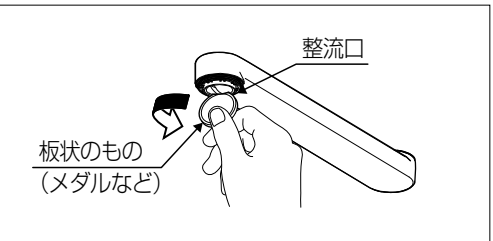
1. 整流口の溝に板状のもの（メダルなど）を当てて左に回し、整流口を回す。

注意

マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。
※破損の恐れがあります。

注意

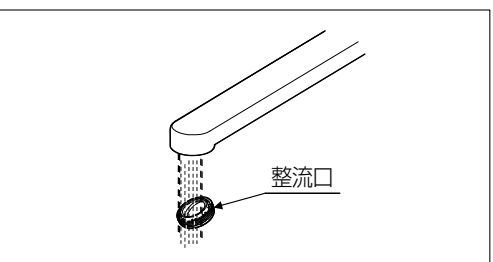
整流口を外す前に、整流口を洗面器やタオルで覆ってください。
※整流口を紛失する恐れがあります。



2. 整流口を水で流して掃除する。

注意

水を出し過ぎないでください。
※水が飛びはね、衣服を濡らす恐れがあります。



3. 整流口の溝に板状のもの（メダルなど）を当てて右に止まるまで回し、吐水口に取り付ける。

注意

整流口のパッキンに傷つけないように注意してください。
※漏水の原因になります。

確認

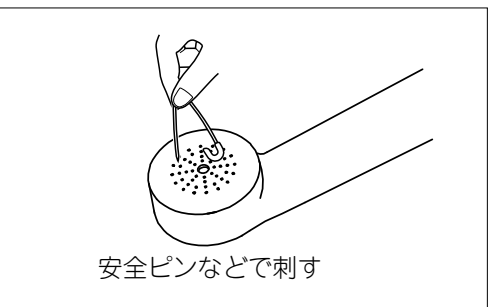
水漏れがないことを確認すること。

散水板の清掃

シャワーの穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ります。

注意

- 安全ピンは無理に奥まで挿入しないでください。
※中の部品が破損する恐れがあります。
- 強い力で刺さないでください。
※散水穴が変形する恐れがあります。
※中の部品が破損する恐れがあります。



ストレーナの掃除

（BF-WM405N型、BF-WL405N型の場合）

吐水量が少なくなった場合はストレーナのゴミ詰まりが考えられます。ときどき次の手順で掃除を行ってください。

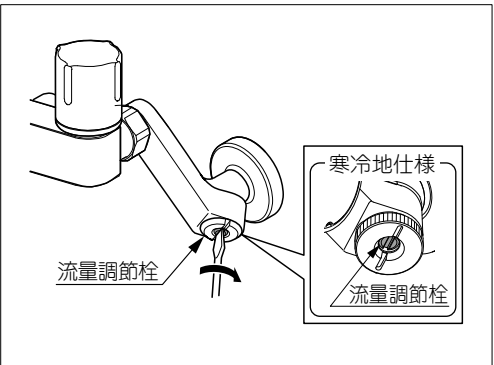
注意

ストレーナの掃除をする前に必ず流量調節栓を閉めてください。
※閉じずに作業を行うと高温の湯が吐出しヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

1. マイナスドライバーで湯側・水側の流量調節栓を閉じます。

注意

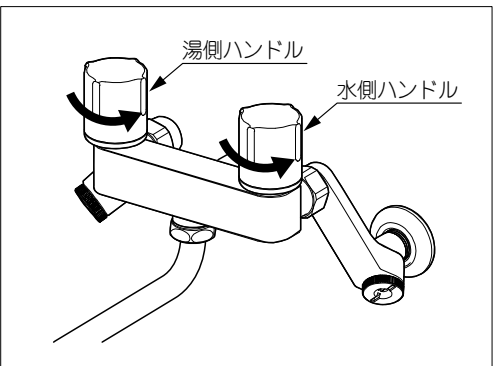
作業前に湯側（左）の取付脚が熱くないか確認してください。
※ヤケドの恐れがあります。



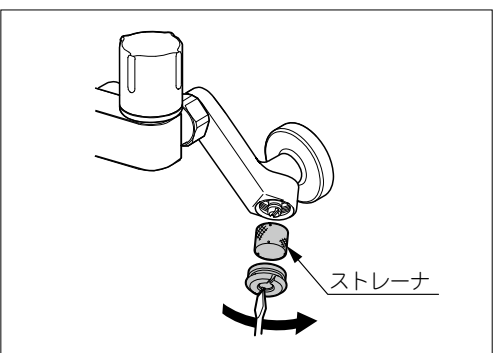
ポイント

閉じるときに、どの程度回転させたか覚えておくことと清掃後の開度調整が容易になります。

2. 湯側ハンドル、水側ハンドルを回し残水を排出します。



3. マイナスドライバーでホルダーを緩めストレーナを取り外します。



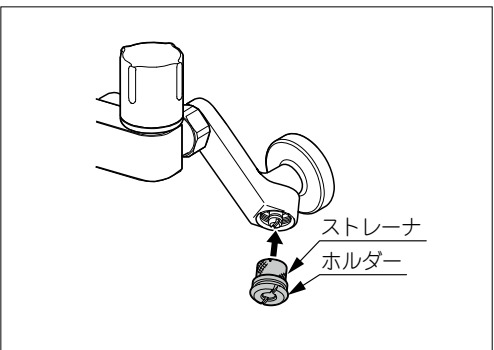
4. ストレーナに付いたゴミや汚れを歯ブラシ等を使用し水洗いします。



5. ホルダーとストレーナを取り付け、流量調節栓を元の位置まで開けます。

ポイント

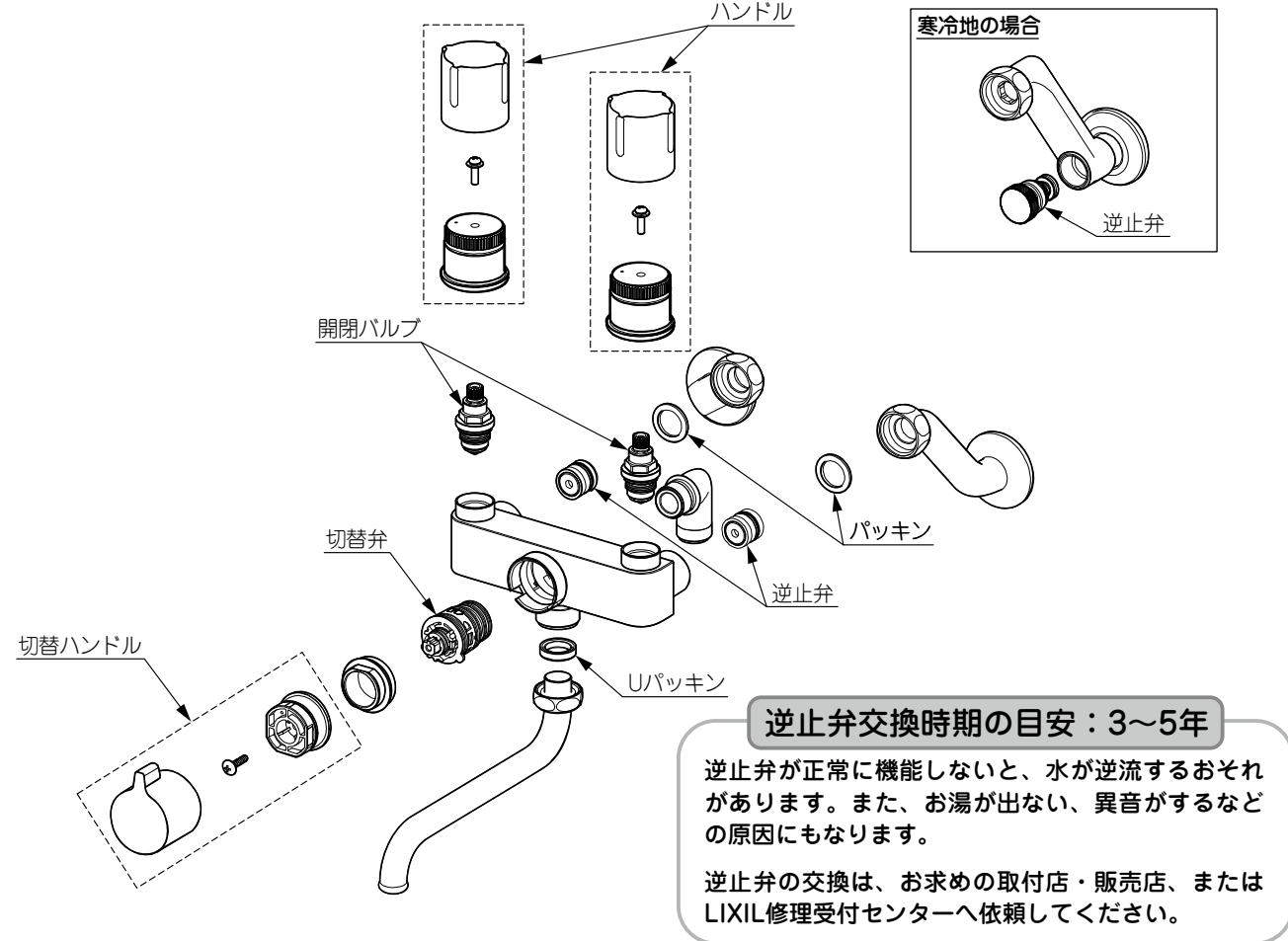
- 流量調節栓は、必ずホルダーとストレーナを取り付けた後に開けること。
- 湯側・水側の両方行うこと。



7 定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、ハンドル、シャワーヘッド、シャワーフック、シャワーホース、バルブ部（切替弁など）、パッキンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。
製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。



〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
お客さまによる日常のお手入れ・点検												
消耗部品の交換												
摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3～5年）												
買換えご検討												

こんなときは

8 修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

吐水量が少ないとき

1. 整流口のゴミ詰まりがないことを確かめてください。（整流口付の場合）
※「整流口の掃除」の項を参照ください。
2. ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替付のものでは適正能力にセットされていることを確かめてください。

希望の温度が得られないとき

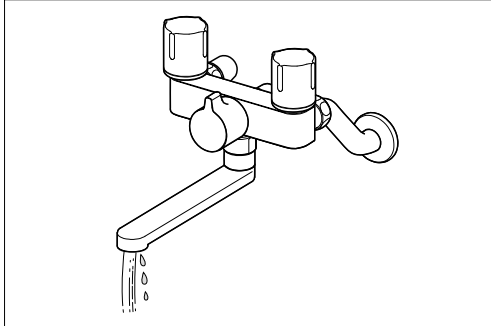
1. 整流口のゴミ詰まりがないことを確かめてください。（整流口付の場合）
※「整流口の掃除」の項を参照ください。
2. 給湯器から十分な温度のお湯がきていることを確かめてください。

異音が出る

- …> ハンドルを急閉止していませんか？
ウォーターハンマー現象が考えられます。流量が多いときに急に止水すると発生します。流量調節栓で流量を少なくするか、ゆっくりハンドルを閉めてください。
- …> 開閉ハンドルを絞って使用していませんか？
水圧によっては、流量を絞って使用することにより流水音が発生する場合がありますが、故障ではありません。

整流口より水が漏れる

- …> 整流口がゆるんでいませんか？
整流口をしっかりと締めてください。



以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。
※LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は「技術料」＋「出張料」＋「部品代」で構成されています。
☎ 0120-179-411

9 アフターサービスについて

修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（**8**）を参照して確認してください。

注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



保証書と保証期間

この取扱説明書には保証書がついています。取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたしますが、取扱店の記入がない場合は取扱店にご連絡ください。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

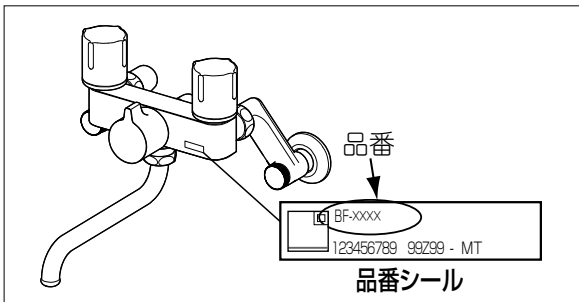
保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

修理を依頼されるとき

《保証期間中は》
修理に際しては、保証書の規定に従って修理させていただきます。
《保証期間が過ぎているときは》
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。
《修理料金は》
“技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》
1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示、右図参照）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低10年間保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。

アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターまで
（ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>）

TEL ☎ **0120-179-411** 受付時間 9:00～19:00 **365日受付**

FAX ☎ **0120-179-456**

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》お客さま相談センターまで

TEL ☎ **0120-179-400** 受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

FAX ☎ **0120-179-430**（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL **0562-40-4050** FAX **0562-40-4053**

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。